

第617回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「いのち。伝えたい おいで こども食堂
～ “ひとり親世帯” を孤立させない取り組み～」

平成29年2月22日（水）

(株) I B C 岩手放送

第617回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成29年2月22日(水) 午前11時
2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|-------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 8名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 栗田 均 龍澤 尚孝 |
| | 岩田 圭司 畠山 俊彰 |
| | 宮 順子 村井 康典 |
| 欠席委員の氏名 | 澤口たまみ 小松 務 |
- 会社側の出席
- | | |
|-------|--------------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 武田 敏哉 | 取締役放送本部長 |
| 黒澤 秀之 | 取締役営業本部長 |
| 中島 勝志 | 報道局長 |
| 井坂 元 | 報道部記者・ディレクター |
| 事務局 | |
| 若槻 修 | 番組審議会事務局長 |
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局員 |
4. 議題 「いのち。伝えたい おいで こども食堂
～ “ひとり親世帯” を孤立させない取り組み～」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 非常に大事なテーマをしっかりと取材しているという印象を持った。一方、30分足らずにいろんな問題を詰め込み過ぎて整理されていないのではないかという感じも受けた。行政の支援事業との差は何なのかという所も描いてくれると、視聴者にもう少し印象に残ったのではないか。
- ひとり親世帯の苦勞がよく伝わってきた。母親をまず支援することが一番大切で、母親が元気で自信を取り戻すことが子どもにもものすごく大きな影響を与える。そういう意味では、利用者の頑張っている姿がよく映し出されていた。
- こども食堂はどうやって運営しているのか、なぜこども食堂が出てきたのか、そしてこども食堂の活動は全県でどれくらいあるのかを知りたかった。
- ひとり親世帯とその貧困という部分に目を向けることができたという意味では素晴らしい番組だった。ひとり親世帯を孤立させない、そのために人と人のつながりを、というところを3つのNPO法人の取り組みから見ることができた。一人では苦しいが、子育ても含めていろんな人たちと関わることを通して生きる希望を見出すことができるというメッセージは伝わってきたのではないか。
- 本当に保育園の食事だけが頼りの家庭もいるという非常に深刻な問題があることを一般の方は知る機会が少ないと思うので、そういう意味ではいいきっかけになったと感じている。
- こういう支援があることは知っていても、なかなか踏み込めない方たち、もしくはこういう存在を知らない方も多いのではないかと思うので、もっとオープンで気軽に活用できる取り組みとしていろんな意味で情報発信していかねばならないのではないかと思った。
- 県内の状況を踏まえながら、県や市、厚労省を含めた国はどういう施策を展開しようとしているのかなど、今後も掘り下げてほしい。またもっとメッセージ性を込めて、行政を動かすことも大事だと思う。そういうことを念頭に置いた番組作りもしていくべきではないか。継続取材を期待する。